

第1回「コティ東彩都」運営推進会議録

日時：平成23年11月28日午後2時～3時30分

場所：「コティ東彩都」グループホーム・デイルーム

出席： 佐保自治会（西野様 加藤様）岩阪自治会（池上様 仲様）
地域包括支援センター 種田様 三宅様
ご家族 Y様 ご入居者 I様
施設長 中嶋 CM市原 オーナー西浦

グループホーム見学

来られた順に2人一組でグループホームを訪問して、交流していただく。

デイルームにて運営推進会議

I 挨拶

III 現状報告 6名（要介護1：2名 2：2名 3：2名）

8月 3名（男性1名・女性2名）

9月 1名（女性）

11月 2名（男性1名・女性1名）

12月 1名（女性 予定）

IV コティ東彩都の取組み

・24時間対応の医療連携について

入居者様・ご家族・スタッフの安心のため、施設として「あいぜん診療所」と契約している。

（ドクターの定期往診：月2回 看護師：毎週）

入居後すぐ高熱が続いた入居者様がおられ、夜中でも対応してもらえ、適切に対応できたと思う。

・自家菜園・花壇での「育てて見て収穫して味わう喜び」

専属のボランティア、岩阪地区の方の協力もあり、ミニトマト・じゃがいも・サツマイモ・コスモス等を植えている。いずれも水やりや草取りから収穫を楽しみながら作業された。（別途写真有）

・デイサービスとの連携

デイサービス棟の広いお風呂での入浴を楽しみにされている方がおられる。

まだ利用される方が少ないので、合同でリクレーションや誕生会をしている。（別途写真有）

・スタッフ研修から（市原）

オープン前にスタッフ全員が研修を受けたが、十分ではなく日々研修の毎日。現在、中嶋・市原の2名が大阪府の「認知症介護実践研修における実践者研修」を受講し、実践中。一人一人の状況、気持ちに沿った介護をしていきたい。

V ご家族・入居者様から

入居者 I様 定年後もずっと仕事を続けておりここに泊まっている。居心地はいいが出勤しようにも交通の便が不便で困っている、など訴えられた。

ご家族 Y様（Hさま長女）

父親の看病・本人の病（現在は落ち着いている）等、介護が困難な状況であったが、こちらに来て、表情が柔らかくなり、他の方とのコミュニケーションも取れ始めているとのことうれしく思う。入居前は開設者が介護の経験が浅いと伺い、不安もあったが払しょくされた。家族への便りやブログで、ホームでの様子がわかるのもよい。孫たちもスマートフォンでブログを見て、おばあちゃんの様子を知ることができ、家族で情報を共有できて喜んでいる。

VI ご意見・ご要望

- ・地域にこのような施設ができ、良かったと思う。
- ・防災についてどのようにされているか。
 - ⇒ 非常時の指定避難先は「彩都西小学校」となっている。地域（佐保・岩阪）の防災について教えていただき、入居者様の安全を図るのはもちろんのこと、地域のお役にも立ちたいと考えている。職員の防災訓練を予定している。
- ・施設前の田んぼ道を散歩コースとして利用させてもらっているが、最近柵が張られた。
 - ⇒ いのしし等の防護柵なので、鍵はかかかっていない。きちんと開閉しえもらえれば今まで通り使用してもらっても構わない。
- ・地域包括支援センターは社会福祉協議会が担当となっている。地域の高齢者の予防介護を担っているので連携していきたい。冊子をいただく。

VII その他